

2025年6月2日

各位

株式会社だいこう証券ビジネス  
株式会社DSB情報システム

## 営業考査モニタリングサービス「TIMS-SALES」を提供開始

株式会社だいこう証券ビジネス（本社：東京都江東区、代表取締役社長：藤井 公房）および株式会社DSB情報システム（本社：東京都江東区、代表取締役社長：清水 泰二）の両社は、証券会社の営業考査<sup>(注1)</sup>業務向けのトータルソリューション「TIMS-SALES」<sup>(注2)</sup>（以下「本サービス」）の提供を2025年4月1日に開始しました。

ファーストユーザーとして、アイザワ証券株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：藍澤 卓弥）が、同日に、本サービスを利用開始しています。

本サービスは、営業考査モニタリング（以下「モニタリング」）資料の作成機能、モニタリング支援機能、証跡管理機能を備えており、「内部管理責任者のスキルに依存しない営業考査」により、業務の効率化にとどまらず、人為的なミスの減少や人材不足問題の解消が可能となります。

本サービスの主な特長は以下のとおりです。

### 1. 内部管理責任者の業務削減

モニタリングに必要な情報をひとつの画面に集約することで、支店コンプライアンス業務の集約化、大量処理を可能とし、内部管理責任者の業務が削減されます。

### 2. モニタリング業務の標準化・効率化

担当者のスキルや経験によらないモニタリングを実現するために、約30種類の標準的なルールに基づき、システムで指摘結果を返却します。それにより、指摘結果の均一化を実現し、ルールとの紐づけを行うことで、簡易な指摘結果の確認時間を削減し、本質的な指摘結果に注力する時間を創出することが可能となります。

### 3. 営業員のコンプライアンス意識向上

モニタリングルール内容の趣旨やコンプライアンス情報を画面上に表示し、営業担当者に共有することで、コンプライアンス意識の向上や顧客適合性を満たした取引の強化を実現します。また、コンプライアンス意識が向上することで、営業考査上の問題が減少し、内部管理責任者の業務軽減にもつながります。

株式会社だいこう証券ビジネスと株式会社 DSB 情報システムは、証券業界のレギュレーション領域（コンプライアンス領域）において、証券会社に必要なレギュレーション DX サービスを提供していきます。今後、IT サービスのみならず、コンプライアンス業務における審査業務、分析・評価業務、検査業務などのレギュレーション業務支援サービスもあわせて提供する予定です。

(注1) 営業考査とは、証券会社の「投資勧誘等の営業活動」「顧客管理」が適正に行われているかを確認することです。営業考査に問題が発生した際は適切な対応をすることが求められています。

(注2) 「TIMS-SALES」(ティムス・セールス)とは、DSBグループが証券コンプライアンス業務を包括的に支援するサービスの名称「TIMS」と営業考査モニタリングシステム「SALES」を結び付けた名称です(現在、商標登録出願中)。

以上

<本件に関するお問合せ先>

株式会社 DSB 情報システム Dream 事業推進部 IT ソリューション営業課 小林、小田島

TEL: 03-5665-3438

---